

2008年7月 北ア最奥地縦走

日時：2008年7月26日～30日

メンバー：野澤(記)

7月末恒例の5日間の夏休み。この間は、一人でゆっくり縦走することにしている。去年は南ア・深南部の縦走にしたので、今年は北ア・最奥地の鷲羽岳、水晶岳、薬師岳、黒部五郎岳の周回コースとした。出来れば西鎌尾根も歩いてみたい。初日に三俣蓮華まで行けるかどうか勝負。どこまで行けますやら…。

1日目…7月26日(土)(晴れのち曇り)

竹橋駅 22:30～新穂高 6:15～鏡平 10:15
～双六小屋 12:30～三俣キャンプ場 15:30(テント泊)

電車に乗り遅れ、バスの受付時間に遅れる。しかし、受付手続きがモタモタしていたおかげで事無きを得たが、前途多難の予感！

予定通り新穂高に到着しスタート。鏡平で池に映る槍ヶ岳を期待したが、ガスで何も見えず残念。少し寝不足のせいか調子が出ない。予定通り双六キャンプ場で止めようと思ったが、一緒になったおじさんが三俣山荘まで



【三俣山荘と鷲羽岳】

行くとい
うので付
いていく。
これで西
鎌尾根ま
で行くこ
とになった
巻き道
ルートを
辿り、三
俣山荘を
目指す。

三俣山荘着。さっきのおじさんと宴会開始。1.5Lをあっけなく飲み干し明日の活力にする。

2日目…7月27日(日)(晴れ後雷雨)

三俣キャンプ場 5:00～鷲羽岳 6:00～
水晶岳 7:36～祖父岳 9:18～雲ノ平 10:26～
薬師沢 12:10～太郎平小屋 15:00(小屋素泊まり)

朝は天気も良く、気分よく元気にスタートする。まずは、鷲羽岳。鷲羽直下の鷲羽池はひっそりと佇み風情がある。ここでピバークしたかったな。



【ひっそりと佇む鷲羽池】



【鷲羽岳山頂】

次は、水晶岳。水晶岳小屋の近くにリュックが置かれていたので、真似て空身で目指す。下山途中で雷鳥の親子に出会う。やっぱりアルプスに来たら、雷鳥に会えなきゃと思っていた矢先だったのでホッとする。挨拶して次へ向う。



【 水晶岳山頂 】

ワリモ岳まで戻り雲ノ平方面へ向う。途中で祖父岳を通過するが、ただっ広さだけが印象に残る。眼下に雲ノ平が見える。山の上にこんなに広い高原があるとは驚き！景色を楽しみながらルンルン気分で歩く。木道歩きが少し辛い。



【 祖父岳 】



【 雲ノ平 】

雲ノ平でノンビリしたい気もあるが、時間も金も無いので通過し薬師沢へ下る。薬師沢に着いた頃から小雨が振り出す。薬師沢を出発して少し経った頃より雷が鳴り出す。あっという間に雷雨が激しくなる。途中で雷の通過を待ち雨宿りしながら進む。当初は薬師峠キャンプ場を目指したが、太郎平小屋周辺でのあまりの雷雨に怖気づき、小屋泊まりとした。

しかし、18:00頃には、雨もあがり富山湾、能登半島が一望出来た。オレンジ色で今まで見たことのない美しさだった。翌日、集中豪雨で金沢の川が氾濫し大変だったと後から知る。異常な美しさは、天変地異の前触れか？

3日目・・・7月28日(月)(曇り後雷雨後曇り)

太郎平小屋 5:16～薬師岳 6:48～太郎平小屋 7:49～雷雨休憩 1H～太郎平小屋 8:50～黒部五郎岳 14:00～黒部五郎キャンプ場 15:35(テント泊)

朝は雨が降っておらず寒くもない、今のうちにと食料と水だけ持って薬師岳をピストンすることにした。しかし、Tシャツ一枚で行ったことを後悔することになる。テント場を越えた辺りから雨が降り出しすぐに雷も鳴り出す。おっかなびっくりで歩く。薬師岳山頂で写真を撮り、急いで引き返す。



【 薬師岳山頂 】

体が冷えないように、体をマッサージしながら、雷と雷の間に走る。途中で下山路が川になっていて登山者で渋滞していたが、岩を飛び他の登山者をどんどん追い越す。何とか無事に太郎平小屋へ戻れたが、冷えて疲れ果ててしまい小屋の乾燥室で1Hほど休んでから出発する。天気は悪く小雨と霧で何も見えない。黙々と黒部五郎岳を目指す。黒部五郎岳手前で雷鳥のオス2匹に出会う。オスに出会ったのは久しぶり。綺麗な夏毛だった。頂上を通過後にも雷鳥の親子に会う。

この辺にはたくさんいる。嬉しい限りだ！黒部五郎岳を下ると天気が良くなってきた。何故かいつもこのパターン。残念！

本日の宿の黒部五郎キャンプ場を目指す。

黒部五郎キャンプ場で、隣のテントの若者と気が合い一緒にビールを飲む。愛知県からきて



既に6日目とのこと。

【 黒部五郎岳山頂 】

4日目・・・7月29日(火)(曇り後晴れ)

黒部五郎キャンプ場 6:00～三俣蓮華岳 7:40～双六岳 8:50～双六小屋 9:25～樅沢岳 10:02～千丈乗越 12:58～槍ヶ岳山荘 14:05(テント泊)

今日は楽しみにしている西鎌尾根が待っている。意気揚々と歩き出す。しかし、今日も三俣蓮華岳山頂、双六岳山頂では見晴らしがない。どちらもガスの中。皮肉にも双六小屋上部の分岐に着いた頃から天気が良くなってきた。悔しい！気持ちを切り替えて、これからの西鎌尾根に期待をかけることにする。



【 三俣蓮華岳山頂 】



【 双六岳山頂 】



【 西鎌尾根 】

西鎌尾根の縦沢岳周辺のごく一部に、他では見られなかった高山植物が咲き乱れていた。

写真を撮っていた人もここは珍しいと言っていた。花のことは良く分らないが確かにたくさん種類が咲いていた。天気もどんどん良くなり槍ヶ岳に着いた頃にはすっかり『晴れ上がっていた。槍の穂先は渋滞が起っており興奮め。今回、穂先は断念しようと思っていたが、夕方になると誰も居なくなったので急いで槍の山頂を踏む。

5日目・・・7月30日(水)(晴)

槍ヶ岳 5:25～槍平 7:05～新穂高 9:45

朝も天気が良い。綺麗な日の出も見られた。今回の縦走コースも一望出来、結構頑張ったな！と今回の山行を振り返る。

快調に下り、新穂高到着。ゆっくりお風呂に入り、ビールを買いに行くと、昨日黒部五郎キャンプ場で一緒に飲んだ若者に再会する。二人で下山祝いをする。予約していた高速バスにも無事乗れて予定通り帰宅し、今回の全工程を無事に終わることが出来た。万歳！



【 新しい朝を迎える槍ヶ岳 】



【 今回の縦走コース 】